

看護科学専攻前期

専門基礎科目(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA005	看護学研究法		1	3.0	1	春AB	水2-4	竹熊カツマタ 麻子, 安梅 勲江, 阿部 吉樹, Togoobaatar Ganchimeg	看護研究における科学的プロセスの理解と、その基本的な手法の帰納的・質的研究法、演繹的・量的研究法の研究法論を学際的に教授する。また研究倫理と、具体的な対象者の関わり方について、人間の尊厳を前提とした関わり方、およびそれに基づく研究者としての基本的資質について論じ、看護を科学的に探究する研究方法を教授する。	OATMB14と同一。 CNS共通科目A。助産師課程専攻学生必修
01EA008	国際看護学		1	2.0	1	秋A	応談	安梅 勲江	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、施策化を行うため、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的・論理的に分析・理解し、当事者主体の倫理に裏づけされたエンパワメント、ネットワークング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。	OATMB16と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA027	生殖生命倫理学		1	2.0	1	春BC	金3,4	岡山 久代, 竹熊カツマタ 麻子, 水野道代, 野口 恵美子, 山下 美智代	助産領域において生じる倫理的問題を理解するための知識について、総合的な講義と倫理的葛藤に関わる倫理的調整に必要な技能を養うために、事例を用いた討論を行う。	OATMB27と同一。 助産師課程専攻学生必修

専門科目(専門研究領域)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA161	ウィメンズヘルス看護学演習I		2	2.0	1	春C	月5,6 金1,2	4B206 岡山 久代, 金澤悠喜	思春期から更年期にある健康リスクの高い女性あるいは健康問題を抱えた女性について、科学的思考を実践に生かすために、より高度な看護活動の方策、研究課題や研究方法、看護実践の質を評価する意義と方法等について理解し、看護実践研究の基礎的能力を修得する。	OATMD12と同一。
01EA104	ウィメンズヘルス看護学演習II		2	2.0	1	秋C	金1-4	岡山 久代, 金澤悠喜	思春期から更年期の発達課題にそった健康支援における最新の研究内容および水準を理解し、実証科学として意味のある研究計画を作成する能力を修得する。	OATMD13と同一。
01EA129	ウィメンズヘルス看護学演習III		2	3.0	1	秋ABC	月5,6	共同B107 岡山 久代, 金澤悠喜	ウィメンズヘルス看護学・助産学領域における看護実践や文献等から研究テーマを見出し、課題に則した研究デザイン、研究計画を検討し、自らが取り組むべき研究課題を探求できる。	OATMD14と同一。
01EA130	ウィメンズヘルス看護学演習IV		2	3.0	2	春ABC	月3,4	共同B107 岡山 久代, 金澤悠喜	授業概要: 科学的根拠に基づいたケアを提供するために、周産期および女性の生涯を通じての助産実践について、Evidence-baseで思考し、研究していく過程について、ウィメンズヘルス看護学・助産学分野の研究を例に、講義、討議、および演習を通して学習する。	OATMD15と同一。
01EA132	助産学特論I		1	2.0	1	春AB	月3,4	4B206 岡山 久代, 金澤悠喜	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度専門職者としての質の高い助産実践と確かな診断をするための知識・技術および問題解決能力を習得する。助産師の倫理、助産診断とは、妊娠・分娩期の助産診断、妊娠期・分娩期の医学診断と治療、乳房の診断と母乳育児、産褥期・新生児期の助産診断、胎児・新生児期の医学診断と治療について学習する。	OATMD16と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA133	助産学演習I		2	2.0	1	春BC	応談	金澤 悠喜, 岡山久代	ローリスク妊産婦および新生児に対して、高度な助産実践者として確かな技術と科学的根拠に基づいた助産ケアを提供するための基本的知識・技術を習得する。	※R2年度はCOVID-19により実施学期変更 OATMD17と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA134	助産学特論II		1	2.0	1	春B 春C	木3,4 月3,4	金澤 悠喜, 濱田洋実, 岡山 久代	最新の周産期のエビデンスやガイドラインに基づく診断と治療、助産ケアを学ぶ。またローリスクのみではなくハイリスクの管理や、異常の診断と救急処置、異常分娩助産など緊急時の対応方法について学ぶ。さらに、ハイリスク事例を分析し、エビデンスに基づいた助産ケアを検討することにより、臨床における課題について解決するための研究・教育的基礎能力を養う。	OATMD18と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA135	助産学演習II		2	2.0	1	春C	応談	金澤 悠喜, 岡山久代	身体的、心理・社会的にハイリスク状態にある周産期の母子とその家族の事例を通して、プライマリケアを踏まえ、予防・早期発見、異常の診断、周産期救急への対応について、質の高いケアを学ぶ。さらに、ハイリスク事例に関する政策的課題を分析し対策すること、ハイリスク事例に関する臨床の課題を研究的に分析することを学ぶ。	OATMD19と同一。 助産師課程専攻学生必修

01EA136	助産学特論III	1	1.0	2	春A	木1,2	4B206	岡山 久代	質の高い助産ケアを提供するための実践能力を育成する教育、助産ケアの質を保証するための組織における管理方法について学習する。また、母子保健サービスの領域における高度な専門職者に求められる管理能力について学習する。 助産師に求められるウィメンズヘルスクア能力、助産師の高度実践教育、助産業務ガイドライン、産科医療保障制度、助産師のキャリアプラン、助産実践能力の評価、助産所の開設と法的義務・規則、助産における人材育成と教育、大学病院でのトップマネジメント、パースセンターの立ち上げと管理、MFIGUの管理、産科病棟および産科外来管理の実践について学習する。	OATMD21と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA137	助産学演習III	2	1.0	2	春B	金1,2	4B206	岡山 久代, 金澤 悠喜	助産の質を評価し保障することについて助産管理の視点から研究的に学習する。エビデンスに基づく助産ガイドラインをクリティックすることにより、研究的視点で助産ケアを学習する。また、助産院の開設・運営に必要な事業計画を作成することにより、助産ケアの質を保証するための管理について学習する。	OATMD22と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA138	助産学実習I	3	8.0	1	秋ABC	応談		金澤 悠喜, 岡山 久代	ローリスクの妊産婦および新生児の助産ケアについて、科学的根拠に基づいた実践が可能となる能力を習得する。また、助産実践の過程を通じて、対象への問題解決能力と個別対応が可能な能力、さらには高度専門職者としての助産観を育む。	火・水・木・金に開講 OATMD23と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA139	助産学実習II	3	3.0	2	通年	応談		金澤 悠喜, 岡山 久代	ハイリスク事例とその家族を対象に、科学的根拠をもって個別対応の助産過程を展開し、可能な範囲でケアの実践に参与する。また、受け持ったケースをレポートにまとめることでケアの質の改善に向けた研究課題、政策的課題、助産実践能力の養成について検討する。	OATMD24と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA140	家族看護学特論	1	2.0	1	春AB	月3,4		涌水 理恵	講義および討議をとおして、小児を教育する家族を中心に、家族を取り巻く社会や地域、保健医療制度のなかで家族への支援調整ができる能力を教授する。	共同B103にて授業 OATME11と同一。 CNS専攻分野共通科目

専門科目(共通)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA401	インターンシップ		3	2.0	1・2	通年	応談	柴山 大賀, 水野道代, 山下 美智代, 福澤 利江子, Togoobaatar Ganchimeg, 岡山久代, 大宮 朋子, 竹熊カツマタ 麻子, 金澤 悠喜, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 山海 知子, 日高 紀久江, 涌水 理恵, 阿部 吉樹	看護実践経験を持たない学生が、看護を科学的に捉える実践経験を得るための実習である。学生は病院、学校、保健所・保健センター、訪問看護ステーションなどで自らの課題に応じた計画を主体的に実践、評価し、看護科学特別研究に繋がるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	選択必修 OATMY11と同一。 日本で看護師としての臨床経験が3年未満の者(助産課程除く)
01EA402	看護科学特別実習		3	2.0	1・2	通年	応談	柴山 大賀, 水野道代, 山下 美智代, 福澤 利江子, Togoobaatar Ganchimeg, 岡山久代, 大宮 朋子, 竹熊カツマタ 麻子, 金澤 悠喜, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 山海 知子, 日高 紀久江, 涌水 理恵, 阿部 吉樹	看護学における高度専門職人になるための自分自身の課題を明確にし、自己成長するために、看護職としての自分自身の現状をアセスメントし、個人の現状に合致した場において課題を設定し、研究的視点を持ちながら実践する実習である。さらにそこで得られた知見を、臨地における実証的研究として特別研究につなげられるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	選択必修 CNS実習科目 OATMY12と同一。 関東が専攻医療人養成プログラム開講科目。助産師課程専攻学生必修 助産課程専攻学生および日本で看護師としての臨床経験が3年以上の者
01EA403	看護科学特別研究		7	4.0	2	通年	応談	看護科学専攻教務委員長, 研究指導教員	それぞれの専門研究領域で修士論文または特定の課題についての研究の成果の作成に向けた指導を行う。	必修